

2026年3月30日
商工中金

地域金融機関と協調し、最新の鍛造設備を導入する 株式会社田中信鉄工所を金融面からサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）の北九州支店は、株式会社田中信鉄工所（本社：福岡県直方市、代表者：田渕 元悟）に対し、鍛造設備の導入に必要な資金9億5,000万円のうち2億円を福岡ひびき信用金庫、筑邦銀行、日本政策金融公庫と協調して融資しました。

同社は、産業機械部品や鉄道の線路部品等の鍛造品を製造しています。鍛造から機械加工まで一貫した製造プロセスと多品種少量生産への対応を強みに、顧客の多様なニーズに柔軟に対応しています。

今回同社は、調達した資金を活用し、本社工場内の鍛造設備の更新を計画。最新の設備を導入し量産受注にも対応できる生産体制を構築することで、量産品の需要を取り込み、更なる事業成長を目指します。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、同社の強みや財務上の課題を共有。同社の企業価値向上には、更なる受注獲得に向けた設備投資が必要と考え、地域金融機関と協調して本融資契約を締結しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の皆さまの企業価値向上を、地域金融機関と連携しサポートすることで、地域経済の発展に貢献してまいります。

【株式会社田中信鉄工所の概要】

所在地	福岡県直方市大字上頓野 4631-7
代表者	田渕 元悟
資本金	1,000万円
従業員数	42名（2026年1月現在）
設立	1950年12月
業種	型打鍛造・機械加工・プレス製品製造



【導入した鍛造設備】